

## 令和4年度 生徒/地域住民合同防災訓練 実施概要

- 1 目的 地震や津波の災害が多発している地域で今後災害の切迫性が高い地域でもあることから、地域住民と合同で防災訓練を行い、生徒の災害に適切に対応する能力を高め、津波避難ビルとしての役割についても考える
- 2 日時 令和4年6月11日(土) 10:00~12:00
- 3 場所 本校
- 4 参加者 本校生徒及び教職員、諏訪地区地域住民
- 5 アドバイザー 青森県防災士会八戸支部 館合 裕之(たてあいひろゆき)氏  
略歴 八戸市福祉部高齢福祉課課長  
総務省消防庁委嘱の「災害語り部」として、八戸市内の小中学校から全国の自治体まで、各地で講演

### 6 概略

時間	内容	教職員の動き	生徒の動き	地域住民の動き
9:45			生徒出校	
~9:55		SHR終了後職員室に戻る	SHR	
9:55	地震発生	教頭が地震発生の放送 「地震発生、地震が収まるまで机などで頭部を保護してください。」 担任が各HRへ移動。	安全確保 ※地震が収まるまで机などで頭部保護。	安全確保
~10:00	地震が収まる	担任が避難準備の指示。	カバン・スマホ等をもって避難準備。	
10:00	津波警報発令	教頭は、津波警報放送 「ただいま津波警報が発令されました指示に従って避難してください」(2回繰り返し)		学校玄関前に避難
10:02	地域住民が避難する	生徒をグラウンド側に誘導し館花下交差点に移動。 ※担任:逃げ遅れがないか点呼確認及び体調不良者の確認。 ※生徒指導部:避難誘導及び逃げ遅れ生徒の探索。	グラウンド側から館花下交差点に向けて避難。 自転車避難者も同様。交差点まで移動後、帰校。	玄関から、スリッパに履き替え特別棟4階【視聴覚室】へ避難開始 ※夜間はガラス戸を破壊して入る事を説明。
~10:10	住民避難完了	*館花下交差点で待機職員が確認。		点呼・体調不良等の確認
~11:00		担任・副担任は、生徒を誘導し交差点まで往復。	防災士によるレクチャーと講評をグラウンドで実施。	防災士によるレクチャーと講評のためグラウンドに移動。
	終了後	HRへ移動し、振り返りアンケートを記入		
~12:00	SHR	諸連絡		地域住民解散



防災士の指導の下  
地域住民と避難訓練  
をする生徒たち



地域住民へ  
避難方法の説明



避難後、ハザードマップ  
を確認する地域住民



防災士による  
レクチャーと講評

